

「再エネ利権」 地元仁木にも!!

風の 新の

まほろば主人
宮下周平

第十五章

改訂最終版

仁木町役場庁舎裏に備え付けられた縦型太陽光パネル

一、爆弾発言「行政機能をぶん取る！」

半年前の3月21日、東北仙台市に本社を置く「河北新報」社が、一大スクープを流した。

備蓄食品製造会社「ワンテーブル」が各地で進めている官民連携事業を巡り、社長が

「自治体の行政機能を、ぶん取る」

などと説明していた録音データを、河北新報が入手。

小規模の自治体を懐柔して利益につなげる実態を明らかに。

2月に制度の隙間を狙ったやり口を報道し、続報を連発。

被災地や自治体を食い物にさせないという執念の報道です。

二、(株)ワンテーブル 島田昌幸元社長

この名を聞いて、仁木町民のみなさん、聞き覚えがないだろうか。

正に一昨年6月、「地域力創造アドバイザー」として就任し「再生

仁木町 脱炭素×再生可能エネルギーセミナー

日時 2023年2月27日(月) 午後6時～
場所 仁木町民センター 多目的文化ホール

目的

世界の平均気温は過去100年間で0.74度上昇するなど、近年、温暖化の傾向化が加速化し、各地で温暖化の原因と考えられる異常気象や災害が発生しており、対策、温暖化が進行すれば、災害などが頻発することが心配されています。
このため我が国では、地球温暖化対策に向け、2050年までに温室効果ガス（二酸化炭素やメタンなど）の排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目標とすることを宣明し、「再生可能エネルギー」の導入など、道を開けて様々な取組を推進しています。
仁木町においても、本年区より国の支援制度を活用し、再生可能エネルギーの導入の方向性を示す「仁木町再生可能エネルギービジョン」を策定し、脱炭素に向けた取組を進めていくこととしております。
そのうえで広範な町民の皆さんに脱炭素や再生可能エネルギーなどに対する理解を深めていただくことを目的にセミナーを開催します。

主催 仁木町

対象者 仁木町民並びに町内事業所へ勤務されている方

参加費 無料

セミナーの内容

講演テーマ1「脱炭素等の世界的な動向と全国的な再生可能エネルギーの導入状況やその必要性」

講師 アロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー

高田 善樹氏

【概要】

経済産業省に入会後、地域経済産業グループにおいて、地域経済活性化政策の企画立案を担い、大企業政策推進部副部長の要職を経て、内閣官庁PPP政府対策本部へ出向。
その後、通商政策局アジア課長に就任し、ASEAN地域への経済協力案件の形成、企業の輸出促進策策などに従事。DTPA入社後は、企業の創業・事業展開に係る政策支援や、基礎自治体における様々な分野の政策支援業務、実行支援業務を担った。

講演テーマ2「地域における再生可能エネルギーの可能性と導入事例」

講師 仁木町地産力創造アドバイザー

株式会社ワンテーブル 代表取締役 高田 昌幸氏

【概要】

地域活性化におけるプロデューサーとして戦略的なブランディング・先端技術を活用した観光関連事業の企画・実行、エリア開発などを手がけ、被災地における事業開発は復興庁の公募に選定されるなど各地に展開した事業開発を主眼に事業開発を推進。
事業「施設収容型・事業収容型」-ブランディング・経営戦略・商品・サービス開発など総合的なプロデュースを実施。また、仁木町において令和3年度から取組む地域力創出アドバイザー「科創専門家」として活動中。

申込み 不要

その他 入場時の検温にご協力願います。参加者の皆さまにはマスクの着用をお願いするほか、定期的にドアの開閉など換気を行い、感染対策に留意し実施します。

連絡先 住民課環境衛生係（☎32-2513）



画像出典：プレジデントライン <https://president.jp/>



ワンテーブルは2016年設立の野菜・果実缶詰・保存食料品製造業。主な事業は備蓄用食品の開発（LIFE STOCK）、非常用発電対応ソリューション（解決や解答）とあるが、官民共創コンソーシアム（複数の企業が「共同企業体」を組成して、一つのサービスを共同で行う取引等を通じた自治体事業）等の受託を行っている。



脱炭素×再生可能エネルギーセミナー
地球に優しいまちづくり

2月27日、町民センターにおいて、「仁木町脱炭素×再生可能エネルギーセミナー」を開催しました。
同セミナーは、町が目指す再生可能エネルギーの目標像を確立し、脱炭素先行地域を目指すための方向性を示すこと、及び地域事業者や地域住民の脱炭素に向けた意識の醸成を図ることを目的とした「仁木町再生可能エネルギービジョン」の策定に向けて、開催したもので、当日は、約50名の方が参加されました。
なお、町では、同セミナーの開催後、令和5年4月1日付けで、「仁木町再生可能エネルギービジョン」を策定しており、今後、「同ビジョン」をもとに、本町の気象、地形、自然条件などの地域特性等を盛り込んだ、仁木町独自の再生可能エネルギー導入促進・仁木モデルの構築を目指してまいります。



セミナーの様子

可能エネルギービジョン」策定に係り、初めて町民の前に姿を現したのは、今年2月27日の「仁木町脱炭素×再生可能エネルギーセミナー」。まさに仁木独自モデルを提唱し実現すべく総務省から派遣された講師二人の内の一人が島田昌幸元社長、その人であった。
かつての3・11の忍苦の体験から、震災復興の星、仙台市場支援の期待のベンチャーとして仁木町再生エネプロジェクトに迎えられた。その構想の語り慣れた口調に、みな納得し、賛同の意を示したかのようであった。が、残念ながら参加者の町民は数えるほど、町の職員と「仁木町の風力発電を考えたい会」のメンバーが大半であった。
矢継ぎ早の疑義質問は、ほとんど会員で終了し、時間が足らぬほど白熱した。



風の祈り

自分にできることはな
んだらう。東日本大震災

三、「地方自治体は
バカ、地方議員はザ
コ！」

その一月も経ぬ間に、この事件
は勃発したのだった。

仁木での再エネセミナーでは、
我々の前で、

「ワンテーブルは命の未来にイノ
ベーションを興す会社です。1人の
命も取り残さない社会を作りたい。
日常の先に災害がある。だから日常
と向き合い豊かにすることが最大の
防災です」

「少しずつ、みんなで知恵を出し合
えば、必ず未来は創れると信じてい
ます。」

「そんな中、私のふるさと北海道で
も胆振東部地震によって、北海道が
ブラックアウトという状況に陥り、
障害を持たれる人や妊婦さんや透析
患者さんなど緊急を要するかたがた
にとって安心・安全な社会をどうやっ
て実現するか、改めて考えさせられ
ました。」

の経験をどうやって皆様に貢献する
ことができるのだろうか……。

これはあくまでも、**表の顔**。彼
が美辞麗句で飾り付けた地方再生
構想だ。

その**裏の顔**。自社の官民連携事
業への本音・本心はこうだった。

「ちっちゃい自治体って経営でき
るんですよ。

華々しくやるとハレーション(強
い悪影響)が大きいで、**ちよっと
ずつ侵食しているんですよ。**

(行政)機能を外出そとださせせる。気付
かないけど、浸食されてたね。

財政力指数が0.5以下(の
自治体)って、人もいない。**ぶっちゃ
け「バカ」です。**

現場の(職員の人)人には無理です。
そういうときに、うちはいま**「第2
役場」**っていう。

**「機能そのものを、ぶん取っ
ている」**

例えば窓口業務を受託、じゃなく
て税務課をバーンと。

(岡山県西粟倉村は)1500人
の村で50億円の予算を持っている。

50億発注できるんだよ、毎年。たった
1500人(の村)で50億円を出せ
るっていつかは、まだまだ出せる。

**大企業が狙わない、0.5以下の財
政力指数の自治体を狙っているの
が、うちの攻めなんですよ。**

(全国に)1700の自治体があっ
て、(財政力指数が)0.5以下は
900なんで、約1000あるん
ですよ。ということは1000ある
と、まあまあ何兆円かになって。こ
れを僕たちは狙っている。

限りある首長の中にも、いる。
つまり、ドキドキする、共感
する、「**やれ、島田君、行け。**」



●表 3: 主要財務比率の推移 (仁木町)

$$\text{財政力指数} = \frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$$

区分	財政力指数(ア)	経常収支比率(イ)	実質公債費比率(ウ)
令和2年度	0.180	87.5%	9.8%
令和3年度	0.175	80.5%	9.2%
令和4年度	0.171	84.4%	9.2%

(ア) 財政力指数

財政力の程度を表す指数として用いられ、この数値が高いほど財政力が強く、財政運営の自主性が高いとされているが、本町は自主財源に乏しく恒常的に財政の余裕が失われている。令和4年度は0.171であり、前年度と比較して0.004ポイント下回り、更に厳しい財政状況にある。

そのところで**議会も制圧**できれ
ば、一歩踏み込むエリアっていうの
は、2地域だけある。本当に制圧で
きるころ。

**地方議会なんてそんなもんですよ。
雑魚だから、いいから俺らの方が**

**勉強しているし、分かっているから
「言うこと聞け」っていうのが、**

本音じゃないですか。

(YouTube 河北新報オンライン「ワンテーブル
島田昌幸社長 自社の官民連携事業についての
発言」1分30秒 2023/03/21より)

全国・全地域の財政力指数ランキング		2014年度			
順位	自治体名	財政力指数	標準財政規模	歳入総額	歳出総額
		2014年度	2014年度(A)	2014年度(B)	2014年度(C)
1635	赤村(福岡県)	0.14-	1,401,570千円	2,989,406千円	2,927,076千円
1635	仁木町(北海道)	0.14-	2,185,980千円	3,647,709千円	3,615,799千円
1635	美深町(北海道)	0.14-	3,454,500千円	6,208,199千円	5,825,541千円

北海道の財政力指数ランキング		2014年度			
順位	自治体名	財政力指数	標準財政規模	歳入総額	歳出総額
		2014年度	2014年度(A)	2014年度(B)	2014年度(C)
139	和寒町	0.14-	2,795,149千円	4,517,918千円	4,329,847千円
139	仁木町	0.14-	2,185,980千円	3,647,709千円	3,615,799千円
139	美深町	0.14-	3,454,500千円	6,208,199千円	5,825,541千円

出典：日本・地域番付 <http://area-info.jp/n.org/> より

四 仁木は、貧困だった!!

こうも明暗がはっきりすれば、解り易い。

仁木町も、年々人口減少を免れず、財政も税収が主で、財政力指数が何と**0・171**という低迷状況、年々低下の一途を辿る。ちな

みに、少し古いが2014年度の

財政力指数ランキングでは、全国

1763市町村中、**1635**番目。

全道**179**市町村中、**139**番目。

財政破綻した「財政再生団体」夕

張市は、全国でさえ**1524**番目。

仁木町は、その約**100**番下方に

あり、さらに約**100**番

下があると全国最下位とい

う極めて危うい赤字財政

である。**町税3・5億円**、

地方交付税なしには自立

出来ない。各々の農家は

裕福のように感じるが、

税収は意外と少なく、何

故需要額の分母が大き

なるか、検討すべき喫緊

の課題ではなからうか。

島田氏からすると、言葉

は悪いが、**第2役場・町政**

機能を乗っ取れるイカモ

と映った。仁木町は丸ごと

奪められている。つまり、

彼らの**餌食**。首長も議員も

職員も、まんまと謀略の網

に捕獲されたのだ。

しかし、みな懸命に仕

事に取り組んでいて、「バ

カ」呼ばわりは酷い。役場職員

方は優秀で真面目。課長が、係長

の職分まで負担して気の毒。慢性

的人材不足で、精神的重圧に陥っ

ているのではなからうか。辞めな

いで頑張ってほしい。そして、町

民は蚊帳の外のままだ。

彼の狙いは、「エネルギー構造高

度化転換理解推進事業費補助金」

の歳入**3,190**万円を、そっく

りそのまま歳出としての「再生可

能エネルギービジョン策定委託料」

に、そして、令和五年度当初予算

の**7,000**万円、さらに先の展

開の金額の引き出しにあったのだ。

五 議会と特別委員会でも紛糾

これが、ただならぬ事件であっ

たことを、今年に入って議会傍聴

で知った。

3月定例会で、フルーツパーク

仁木の「道の駅プロジェクト」に

島田氏をアドバイザーとして迎え

た基本構想の策定に関して質疑が

あった。6月定例会では、磨議員

から、島田氏が問題発言で本件か

ら辞退した旨を問い正した。そし

て先の9月22日の定例会で、佐藤

議員からは、「人材を欠いての両事

業への影響はないのか」との質疑。

それで不審に思い、島田氏の動

向をnet検索すると、とんでも

ない事態が東北地域で起こってい

ることを知ったのだ。

島田氏は一昨年6月、「地域力創

造アドバイザー」に就任、昨年も

継続、年間10回の取り組みの謝礼

金として**400**万円のアドバイザー

料。そしてこれからという時

の辞任。

このアドバイザー辞任を受けて

の経緯説明は、10月3日「令和四

年度各会計決算特別委員会」で追

及され、これを傍聴した。

「垂直型太陽光発電施設の導入に

関わる実証調査」後の展開は、農

家向けに「営農型ソーラーパネル」

設置普及が待っていた。

だが、中国HUAWEI製4連20

枚2基のソーラーパネル300万円

と、諸々の調査費とコンサル料を含め

ての**3,190**万円の途方もない額

面は、何が何でも有り得ないだろう。



HUAWEI 製ソーラーパネルとパワーコンディショナー



この3月、住民課から出された「仁木町再生エネルギービジョン」の報告書。ワンテールブル提言資料を元に、林副町長自ら記したと言う34ページこそ、その代償であり、象徴である。予算額と契約額がピタリ一致するのにも腑に落ちない。何故、他の業者の査定を取らなかったのか。昔からある縦型ソーラーが、新しいアイデアでも何でもなく、そのデータを、仁木町が3,000万円かけてまで調査検討する必要性があったの

か。それで儲けるのは、総務省派遣講師にして、ワンテールブル元社長いなまたの島田昌幸氏である。稲畑産業、東京エネシス、それが別会社であったも、底で三社は繋がっている。それは、後で話す「救急車事件」の闇を想起させる。

だが、この河北新報の隠し録音で、信用は失墜し、一切が灰塵かいじんに帰した。本来あってはならない**官民利権**を我が一手に納めるべく画策したのだ。それを**町との談合**と疑われても致し方ない。

六、町の居直り

これは再生可能エネルギー云々の是非賛否を問う前に、一般社会における**道義の欠如**を問うべきではなからうか。事件性はないとしても、明らかに、再生エネを利用した詐欺まがいの「**再エネ利権**」である。果たして人としての道を欠けるのだろうか。それを問いたい。

そこを町は、調査しないで、招しょう聘したのか、契約したのか、了承したのか、と素朴に思う。

見積書も、仕様書も、みな暗黙の了解で丸投げ、ワンテールお任せ一方ではなかったか。

席上、町が**予算措置**する際の根拠となる見積書の開示を、佐藤議員が要求したが、その場で慌あわてふためいて探すも**不明**、或いは**元より無い**か、**紛失**か。当時、担当していた参事は、前後して退職した謎。もし、国の会計検査院が入れば、申し開きできない事態だ。

町長と東京で会合し、その縁で招致して、最後は島田氏自ら辞退した。委員会の終わり頃、佐藤町長は、「島田氏は、法に触れて訴追されていないので、逆に堂々としていれば良いのでは、と助言。他の町村長も氏の地域貢献を評価して同じ見解。私は自信をもってお答えします。一切不正はしていません」という**確約**を、**町長自ら宣言して担保とした**。

某記者は、「警察が見ていないければ、飲酒運転しても問題ないと同じだ」と失望した。だが、5月31日付けで、不正を犯していないはずの島田氏は**社長を辞任**していた。(現在も株ワンテールの取締役。代表

は、同日付で富田智之氏が就任)また、総務省は、地域力創造アドバザイア契約から、**氏を削除抹消**した。正に自らを省みず、典型的トカゲの尻尾切りだ。

七、自治体への誘導の仕方

地方自治体の操り方、騙だまし方、儲け方を、島田氏自ら得々としてこう述べている。

「総務省の(自治体を支援する)アドバザイアっていうところになって。何をやっているかというところ、ちょっと入り方が独特です。民間というよりは、総務省から派遣されていくのでワンテールの島田じゃないんですよ。『**総務省の島田先生**』っていう形で派遣されていくというのが、



画像出典：<https://www.reconstruction.go.jp/>

ちょっとミンで、そうすると入り方が。僕の（派遣）費用は全部、総務省が持っています。自治体からすると1日70万〜100万円かかってしまうので、僕のコストがですね。それを自治体が出せないよねってことで、皆さん、窓口業務をアウトソーシング（外部委託）した方がいいって、こうなる訳ですよ。

国見町とか、いろんな町が僕の話していることに「島田さん、その通りです。これ早くやりたいです」って。

自治体って独特で、入札案件になると今までのく仲が良くても（競争入札で）1円でも負けたら負けなんですよ。そんなやつと友だちになるはずねえって、俺は言うんですよ、自治体の職員に。だから君たちは、民間に見捨てられて、誰も構ってくれない田舎の自治体なんだって、そういう風に教育していくわけです。

2年くらいリードタイムがあるんです、仕込みが。3年かけて予算化させて。それで予算化の時に島田先生は「ワンテーパーの島田」になられます。

プロポーザル（業務を委託するときに適した提案者を選ぶ方式）があ

るので、ノリノリなところは随意契約でやるんですけど、金額が大きくなると、いろんな問題が出て来るから。逆に僕から、「これちょっとやばいからプロポーザルにしよう」みたいな。（11ページ、四段参照） 結局、ワンテーパーは、僕はもう22年、この商売をずっとやっているんですけど、やりたいと言わせたらこっちの勝ちで、あとは言うことを聞かせる。あと**踏み絵**が次にあります。

彼ら（自治体）って、議会を最後に通さないといけないので、**首長**があつての議会。だから僕は、一番は僕を、専門家として呼ぶっていうのを**踏み絵**にします。

（総務省のアドバイザー事業は）タダじゃないですか。タダの人材でさえ呼べない自治体はやらない。必ず、僕を呼ぶために議会に説明したりとか。タダでも議会とかに説明があるので。そこで、**そいつら**（首長や自治体職員、議員）を、**ズット見抜いているんですよ**。……

YouTube 河北新報オンライン「ワンテーパー 島田昌幸社長 自治体との関わりについての発言」2分06秒 2023/03/23より

ハ、以上を、纏める

① 自治体は、インソーシング（内製化）よりアウトソーシング（外部委託）を、総務省という権威、費用タダという気安さで、査定なしで無条件に選んでしまう。しかし、国費は国民の血税であることを忘れてはならない。それは町が自ら努力しないので、しかも国のお墨付きを得た錯覚でもある。言ってみれば、講師の言いなり、思う壺である。

② 2年のアドバイザー期間を終え、いよいよ本命三年後からは、儲けである。仁木では、営農用ソーラーパネルが、それに当たったはずだ。そこで、本来の商人に変身する。そこに必ずワンテーパーに帰結する方式を採用する。それが通常のコンペ・入札方式でなく、プロポーザルという聞きなれない方式だ。3者にはそれぞれの条件が重なるが、煎じ詰めればプロポーザル方式は提案者が評価の対象で、価格でも内容でもない。すでに講師は、島田氏で独壇場、相見積りを取

事業の実施方針
事業の実施体制
過去の事業実績
地域に対する貢献度

選定方式	評価の対象
プロポーザル方式	提案者
コンペ方式	提案内容
入札	価格

る要もない。無条件降伏でワンテーパーで、決まりなのだ。③ 後は、再エネの専門家として振舞えば、再エネに無知同然の首長、議員、職員は、反論するにも反論するだけの知識も経験も持ち合わせていないから、「**仰せの通りに**」と、書類も文言も意のままに相成る次第である。その後、粛々と事業は、講師の思い通りに動いてゆく。

<https://machiage.microad.jp/>

「仁木町再生可能エネルギービジョン」の策定には、豊かな創造性と高い技術力、豊富な経験を有する優れた事業者の協力が必要であり、このため価格のみの競争入札による委託業務には適さないと判断し、公募型プロポーザル方式により受託者を選定したところ。「仁木町再生可能エネルギービジョン」では、太陽光発電をはじめとする様々な再生可能エネルギーにおける潜在能力の推計、既存資料及びデータを用いた……（後略）

第4回 議会定例会会議録の野崎議員の一般質問。佐藤町長より、『公募型プロポーザル方式により受託者を選定した』との答弁の一部。令和4年12月20日〈これも、ワンテーパー作成を基にしたもの〉

これが、外部から招聘するアドバイザーの実態を自ら明かした内幕である。
そして、仁木町が企画した「**脱炭素×再生可能エネルギー構想**」の前身となる。こんな絡繰りが、何時までも通る訳がない。
それで、早晩に暴露され、町民を巻き込んで紛糾したのが、福島県国見町の「救急車事件」であった。

九、大紛糾「救急車事業」

これも、島田氏自らタネを明かしている。まずは聞こう。

「救急車事業。ふるさと納税企業版だから、4億円（の寄付金）のうち90%だから、3億6000万円が還付されるわけ。ということは、4億円のうち4000万円の利益が出れば。でも、もうかるに決まっているじゃないですか。」

なので、俺たちは35〜40%の利益（率）設定するんで。そうすると、なぜか寄付するんですけど、あべこべもうかっちゃ。事業で戻しちゃうから、救急車の開発をしているんですよ。その時にトヨタ系ハイエースがいるから、あれなんですけど。

でも僕たちは、ふるさと納税企業版という制度を使いながら、黒を白に変えているんですよ。浸食しまくっている。

それはもう、それが正しいのは、時にはマネーのパワーで押さえ込んだり、でもそれが正しいって時に。



(<https://kahoku.news/> より)

結局、救急車事業の開発ってことで、毎年4億から5億の寄付をするんですよ。それを持って、うちに全てきて研究開発出来る。それをまた、タダでできるんですけど。

またそれを、無償貸与ってことで自治体から受けて。

またそれを、実証実験という名のもとに貸すんですよ。

これはな、もう企業の利益をぐるぐるぐるぐる回しまくっている。

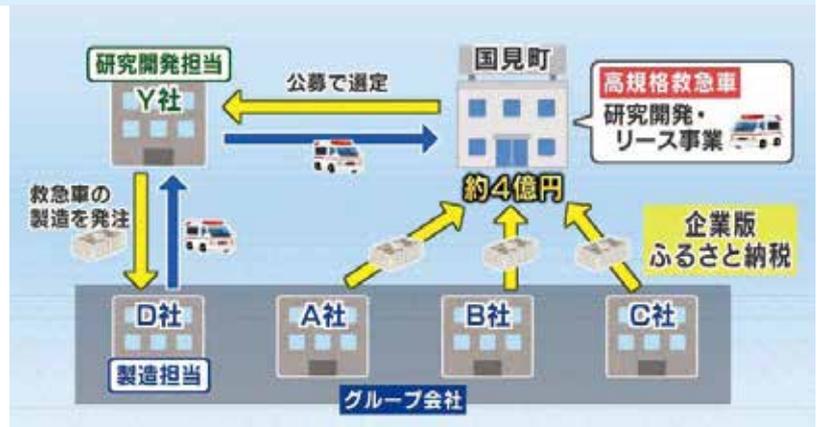
取る時は国からも取りますよ、制度使って。でも制度をちょっと超えちゃう領域ってあってアンタッチャブルな時ってあるんで。そこはもう、ありとあらゆる政策をくっつけて、資金を浄化させて、超絶いいマネー

ロンダリングをして、仕事に返す。
(現金を戻す)キックバックじゃない。業務に返す。そういうことを、いまやっているんですよ。」

YouTube 河北新報オンライン「ワンテーパー・島田昌幸社長 高規格救急車事業に関する発言」1分41秒 2023/03/19より

酷い話である、これが外見きれ

いごとの決まり事の内容である。



画像出典：NHK 福島 WEB 特集 <https://www.nhk.or.jp/fukushima/> より

十、「出来レース」と「再エネ事業」

グループ会社が、町に寄付したかのような「企業版ふるさと納税」で装いながら、町の共同事業体「官民共創コンソーシアム」を推進する発言。これで、法人税・法人住民税・事業税の税額控除を受ける。実質、還付金9割、負担が何と1割なのだ！ 見せかけの善意……！



画像出典：https://www.youtube.com/watch?v=luelQFdVcaQ

競合他社を排除する項目を入れて「公募型プロポーザル方式」を提案。
 彼曰く「超絶いいマネーロンダリング（資金浄化）」しながら、町が公募で選定した研究開発担当の会社「ワンテール」も、救急車の製造を発注した製造会社「ベルリング」も、みな同族企業で机の下で手を結んでいるゲル。総ぐるみで儲けを町から吸い上げながら回す。既に、公募の8ヶ月前から救急車の発注をかけていたと言うから相当の確信犯である。

高規格開発研究と称するも既存の車両規格を使い回して仕様書を上げて在庫一掃処分、しかもその定価が相場の2倍。ついにながらワンテールの防災備蓄ゼリーも市価の倍。ここまで悪質極まりないのだ。市町村を舐め切っている。

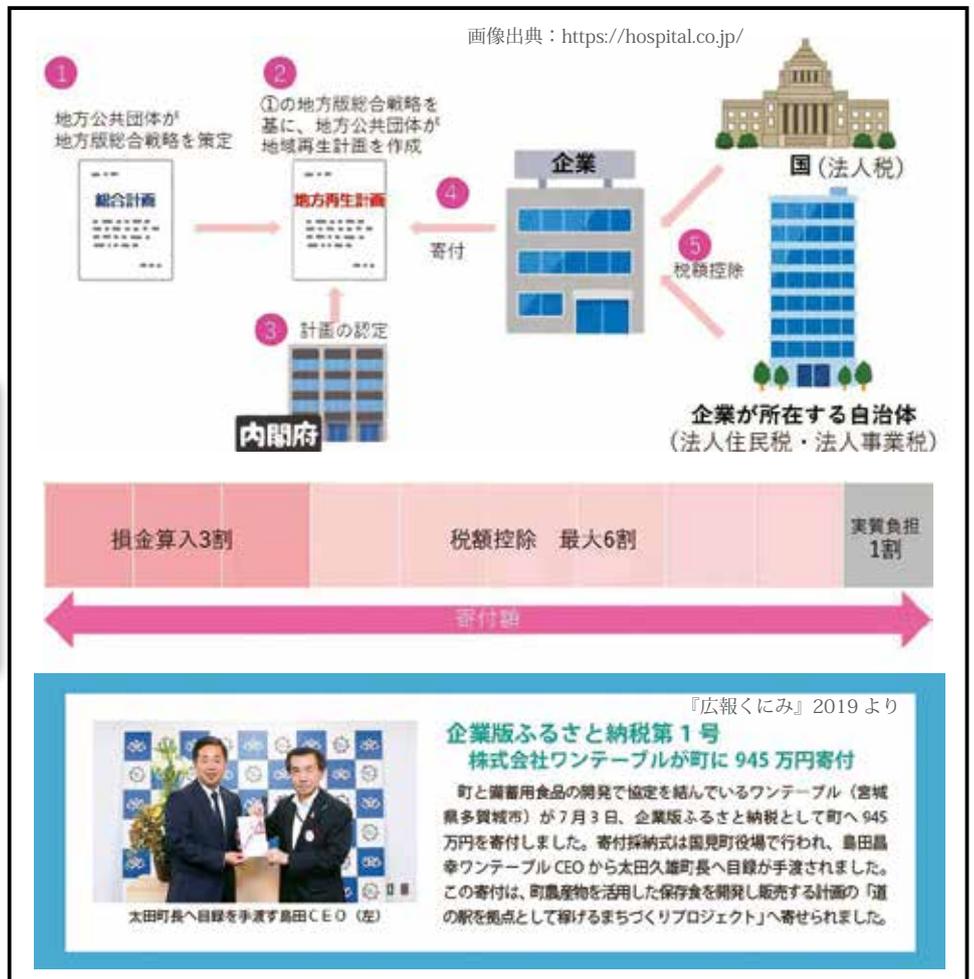
逆に、敵ながら天晴れという、実に巧妙に仕組まれた罠である。読売、内田洋行など大企業を後ろ盾にする巧言。稀代の詐欺師である。商売人なる私も、この術策に嵌ったら、易々と落ちたであろう。ギリギリのところまで犯罪性を逃れ、この事件を起こしても、佐藤町長が褒めたように、なおも、上場を目指すという。互いに呆れると言っ他ない。

これでは、仁木町が受託業者と関与し、官製談合の可能性を疑われても無理からぬことではないか。

ここに、動かぬ証拠がある。

仁木町HPプロポーザル公募関連の「仕様書」PDFファイルを開き、ドキュメントプロパティに入ると、作成者が元ワンテール社員、某氏の名が履歴に隠れていた。後の副町長作成と述懐していた「ビジョン」

画像出典：https://hospital.co.jp/



も、ワンテールBPP作成と、3月24日付けで刻まれている。虚偽の証言。国見町と同じ手口。町の肩代わりをして即町から受注。これらは明らかな「出来レース」。

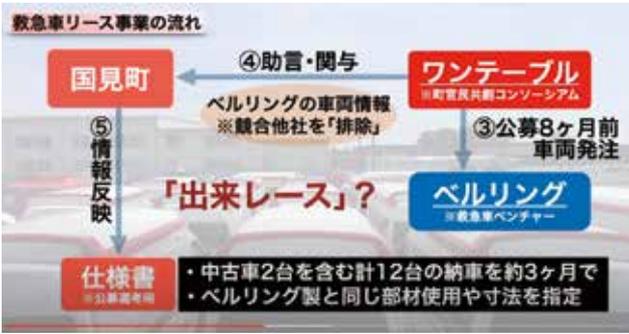
詐欺罪、刑事犯罪ではないか。

ドキュメントプロパティ

ファイル名: immd6j000000
 ファイルサイズ: 185 KB

タイトル: -
 作成者: ●●●●●●
 主題: -

ついに国見町議会は、救急車を県内外に寄贈し、業務委託を解消するも、時すでに遅く、崩壊された町の信頼は取り戻すことはできない。

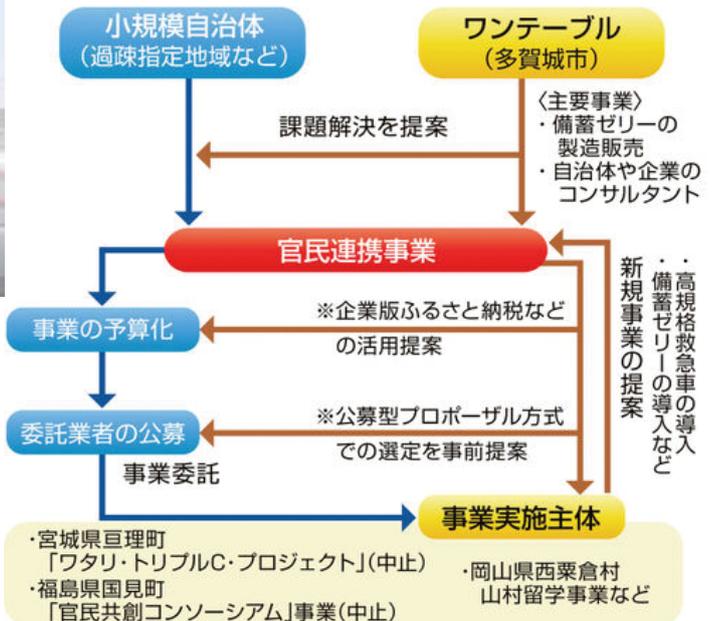


河北新聞オンライン『疑惑の救急車 福島・国見町 揺らぐ事業の妥当性』YouTubeより



『河北新報』2023年11月1日付より

ワンテールの官民連携事業スキーム



画像出典：河北新報オンライン <https://kahoku.news/> より

最も厳しい調査権を規定した「百条委員会」が既に設置された。偽証、黙秘、拒絶も罰則、書類送検される。仁木町も同じ轍を踏むだろう。

十一、JAXA さえも

仁木町でも、1億円にも上る町民の損益に係る重大なアドバイザーや企業選択を、徹底して精査せねば

ならない立場が、逆に悪乗りした。精査済みなら、国見町と同企業悪徳業者「ワンテール」を、何故選定し契約したのか。それを承認した議員にも責任は当然あるだろうが、そこまでは求められないだろう。

何せ、あのJAXAでさえ、宇宙保存食」で契約していたのだ。 (新たな防災への取り組み「BOSAI SPACE FOOD PROJECT」)

食品製造同業者の立場で言わせて貰うと、果汁100%ゼリーの栄養価の高い有機物を保存する難易度の高さなら納得するも、僅か果汁10%に残りは、ほぼ水分と糖質。増粘多糖類、ゲル化剤や香料・酸味料を混ぜて、充填後80℃35分間の加熱滅菌の一般製法。もし、より高温の高圧蒸気滅菌ならばゲル化が崩壊するため80℃に止めたのではないか。一般細菌と大腸菌、大腸菌群の菌数の変化のみを基準として賞味期限を5年半とした。

しかし、次に挙げる、

- ① パウチ中で発生するポツリヌス菌などの嫌気性菌の微生物評価。
- ② 殺菌温度80℃以上の高温に強い優性芽胞細菌などの評価。



画像出典：<https://onetable.jp/> より



JAXA ホームページより

③ 粘度や濁度、PH、酸度、過酸化物質などの理化学試験。

④ 視覚・味覚・嗅覚などの感覚を通して官能検査。

などを総合的に評価し消費期限を決めるべきだが、いずれも欠落している。

アルミにコーティングした同じ缶詰状パックで、同じ製造処方の他のメーカーも、同様の長期保存の可能性がある。何故高度な技術研究が要るのか。煎ずれば、**発注量が少なくてもJAXAのお墨付きを貰い、各自治体に大量拡販するのが目的**であった。その手口は、高規格救急車「研究開発」と同じなのだ。畑違い専門外のJAXAも、それは指摘できなかった。現在、当該商品の今後の取り扱いを検討中のようなのだ。

十二、総務省、経産省の責

自治体が、こういう会社を見抜けなかったことはまだしも、ワンテーパーは問題なしと承認した。そのお膝元の総務省こそ、経産省こそ、その責を問われるべきではないか。各省庁が、採用し、放置する事に、問題視されないのか。政府の良識を問いたい。だが、いずれも腐敗した体質に希望はない。

再エネ事業者、再エネ議連は、これ以上に深い闇である。

秋本真利議員収賄は、粟粒のようなもので、ほんの一泡、一握りにしか過ぎない。その裏に、巨悪が隠れている。かくして、地方行政の中身は、狡猾巧妙な民間企業に騙され、国会国議は、議員誘導で政治献金が議員の懐に入り、全ては、金、金、金の世界。

「再エネ」も、国家の為、地球の為、人類の為と嘯きながら、結局は金のための政策でしかない。誰も、風車やソーラーの為に、幸せになつてはいないばかりか、地域分断と地方の不協和音。正に賛成・反対の対立構造は相手の思う壺である。本来、町と住民は一心一体で、一枚岩でなければならぬ。

これまでの全国にわたる無謀な設置で、どれ程のCO₂が削減されたというのだろうか。再エネ増えて、益々人心が荒廃し、国は滅び行く。

「再エネの間は、中央省庁のみならず、既にかくも地方行政に侵犯浸食している現状に、町民は一日も早く気付いてほしい」

隣町・余市町(YOICHI GREEN PARK)緑・森・人を育む空間づくりや、ブラックアウトの厚真町(JERAY)との共同事業体によるバイオマスのイチゴ栽培施設)などワンテーパーとの提携事業で、いずれもプロポーザル公

1 契約の目的	厚真町最先端デジタル園芸施設設置工事
2 契約の方法	随意契約
3 契約金額	207,405,000円
4 契約の相手方	最先端デジタル園芸コンソーシアム 主幹企業 株式会社プラスワンホーム 仙台市青葉区一番町2丁目5番22号 代表取締役 石橋 良英
	構成員 株式会社ワンテーパー 宮城県多賀城市八幡字一本柳117番地8 代表取締役 島田 昌幸

出典：令和4年7月4日厚真町議会 第5回臨時会議案より

令和4年7月4日、厚真町 宮坂町長は、園芸施設工事請負契約2億円を(株)プラスワンホーム、(株)ワンテーパー、宮城県亘理市の他社と締結した。

募。仙台市の関連会社(株)プラスワンホームが農業プラントと公園管理を請け負っていたが、ワンテーパーと共に撤退、後は推して知るべし。

十三、バイオマス発電に対する疑惑

さらにまた噴出した疑惑。

林副町長が作成したという「仁木町再生可能エネルギービジョン」(8ページ二段目・黄囲み参照)の**バイオマス発電**に対する疑惑だ(左図)。

令和5年度第一回3月定例会で、バイオマス発電6,300万円、役場屋上のソーラー及び窓ガラスに貼るシート状ソーラパネル代700万円、計**7,000万円**が予算計上化され成立した。

この予算成立に先立つ2月末までに、後述する道外企業で道内実績もない(株)ライフプランニング(ちなみに、上記(株)プラスワンホームがバイオマス事業を展開、提携先の外注ではないか)は一般競争入札参加の資格申請を済ませているはずだ。縁もゆかりもない仁木町に突然現れながらも、まるで落札できることが既に決まっているような、余りに

も不可解な雲行きである。

昨年12月、今年2月3月の計3回の「導入検討委員会」も、島田氏の説明独演会、2月27日のセミナーも単なる**儀式**、共に**アリバイ**工作ではなかったか。

事業者を公募したが、プロポーザル1社だけとなった。最終的にワンテーパーが選ばれる仕掛け。

まず、そもそもこの「バイオマス」事業自体の検討は十分に尽くされたものとは到底言い難い。町側の独断専行以外の何物でもない。

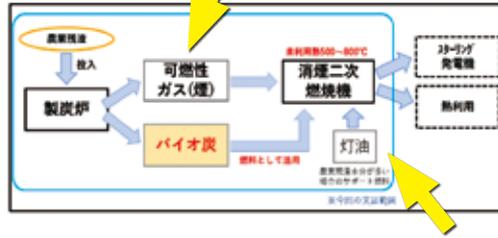
十四、現実味のない計画

例えば「原料の収集」にあるトマト茎葉の処理だ。トマト農家が生産終了後に自らきれいにネットから茎を外し、一定の長さに切断し束ねて運搬する手間暇の上に有償の負担。果樹の剪定枝も然り。従来、農家だけに許されている野焼きで自ら燃やす方が楽で得策である。しかも、それは春秋の2ヶ月ばかりの作業、後は高価な機械を眠らせるのか。

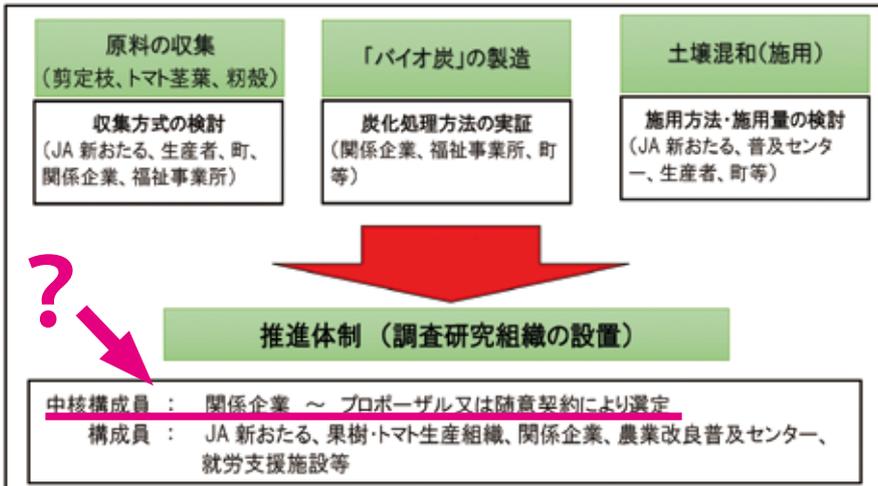
仮に、実証実験で良し、と出たとしても持続的稼働の可能性が拡

③ バイオマス発電に必要なバイオ炭の生成に係る事業計画の策定、実証

バイオ炭の原料となる果樹剪定枝、トマト茎残渣、稲わら等の調達方法の調査・検証、バイオ炭製造設備導入、コスト面等の採算性を検証していきます。



■「バイオ炭」実証・検証の体系イメージ



「令和4年度仁木町再生可能エネルギービジョン」令和5年3月仁木町住民課発行 (株)ワンテーパー作成

(4) 支援策の活用

令和5年度仁木町エネルギー転換実証事業として実証調査を行い「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金」(経済産業省所管、補助率:10/10 上限2億円)を活用していくこととします。

がらない。私も同じ農家として面倒であることは確かなのだ。しかも、製炭炉の燃料は、白煙とCO₂を出す可燃性ガスと灯油である。本末転倒ではないか。切り株や幹は薪で暖房となり、籾殻はドラム缶で燻炭となる。枯れ茎や剪定枝を畑で燃やして、灰や炭

にして畑に返した方が、CO₂削減にも、畑の栄養素にもなり、一銭もかからないエコではないか。現実味のない実証試験のために、6,300万円もの予算を投入できるのか。経産省からの補助金100%なるが故の強気か。町税わずか3・5億円、余りに

も無策無謀ではないか。国の金だから、気楽に失敗しても許されるのか。だが、この財源は、我々国民が支払った血税ではないか。庶民感覚がマヒしてはいまいか。町には不相応な額面ではないか。正に、画に描いた餅、机上の空論、経営感覚のない誘導である。国や道の「CO₂削減」施策と呼応したのであれば、それは「再生エネルギー」に仁木町も取り組んでいるという表向き対外的ポーズでしかない。その為に、

国中が我先にと血税を湯水の如く使っては、国民はたまったものではない。無駄な補助金を削り、減税に回して、国民を少しでも楽にするべきではなからうか。そして、【検証体系イメージ表】の推進体制の中核構成員の関係企業とは、何処なのか。ビジョン書面に、当初選定済みの随意契約者(令和4年度事業者)は、なぜ記載されていないのか。正に、この事業者こそ、あの「ワンテーパー」島田氏であった。いみじくも、彼の述懐(6ページ二段目の波線)、《金額が大きいと随意契約では問題が出てくる(怪しまれる)ので、プロポーザルにしよう」と提案する……との

この見積りは、知見のない役場職員では到底出来ない。通常なら、複数の事業者から相見積りを取り寄せて比較検討する。町の条例では、130万円以上は入札制度導入ではなかったか。そこで、アドバイザー島田氏としても、随意契約(一社に絞られる)では目立って疑われる為表向きプロポーザルを隠れ蓑として設定し公募したのだ。当然選ばれた一社だけのワンテーパーは、意のままに見積りを出して采配する。果たして、町は6,300万円の内訳を精査検証出来たのだろうか。抑々、(株)ワンテーパーの令和5年2月決算(島田代表)は、帝国データバンク評点41点(以前の評価法で最下位Dクラス)。危つき自己資本率17%。年毎

この見積りは、知見のない役場職員では到底出来ない。通常なら、複数の事業者から相見積りを取り寄せて比較検討する。町の条例では、130万円以上は入札制度導入ではなかったか。そこで、アドバイザー島田氏としても、随意契約(一社に絞られる)では目立って疑われる為表向きプロポーザルを隠れ蓑として設定し公募したのだ。当然選ばれた一社だけのワンテーパーは、意のままに見積りを出して采配する。果たして、町は6,300万円の内訳を精査検証出来たのだろうか。抑々、(株)ワンテーパーの令和5年2月決算(島田代表)は、帝国データバンク評点41点(以前の評価法で最下位Dクラス)。危つき自己資本率17%。年毎

の2億円の増収は各自治体からの虚業売り上げ。備蓄食ゼリーは僅か。令和3、4年連続の赤字で設備投資の債務超過寸前は、持ち直すも3月以降の事件で急落であろう。何故、仁木町は、最低限の信用調査を怠ったのか。余りにも杜撰、疎漏である。

町長は承知の上だ。これでは国見町と同じ構図ではないか。どうして地元道内企業を探さないのか。使わないうのか。補助金は道外に流れるだけだ。未だ倒産していないワンテールと仁木町との癒着の間。現在進行形で進められているこの疑惑を、町民の方々は知るべきである。

十五、風力発電も本質と内容は全く同じ

国中の自治体が業者の狡猾なる手口に惑わされ、失態を演じている。我々の反対する風力発電事業者も、その本質と内容は全く同様で、利権以外の何ものでもない。多くの欺瞞と巧妙な業者の罠に、仁木は掛かり、また愚かにも掛かるうとしている。

関西電力に騙されているのだ。町長との密約なきか。頂きから裾野まで、金品授受も常套手段。今では、業界の常識だと言う。各々胸に手を当てられたい。

住民を犠牲にすることなど痛痒にも感じない、関電はそういう悪質極まりなき大企業なのだ。

十六、「風車計画撤回」こそ、「仁木町再生」の第一歩

易々とワンテールの島田氏の策略に嵌り、1億円もの大枚をはたこうとしたことは、行政としての明らかな大失態。それを微塵も

反省せず、町長は、

「ワンテールの島田氏は、何一つ法に触れていないので、逆に正々堂々としていけばよい」

と偽善事業者を庇い、賛美し、自分自身も不正せずと誓い、自己弁護に終始した。厚顔無恥。かくも、開き直りが公然と許され、地方自治も地に墮ちた。

ここで引き返さない限り、関西電力にも虚仮にされ、町の未来は閉ざされてしまうのだ。

それを開くのは、町民あなた「今、ここ」の目覚めなのだ。

この不祥事後、引き継いだ再エネ事業者は、何故か、(株)ワンテールの多賀城市と20km30分と離れぬ同じ宮城県名取市の(株)ライフプランニング(森谷祥代表)が受託。調べると、名取市の同じ住所地番にあったワンテール100%の子会社(株)ワンテール・ライフプランニングが、今年4月3日付で(株)ライフプランニングに社名変更し、代表も島田氏の盟友である伊藤秀有氏と共に森谷祥氏が就任し前面に出て、ワンテールと島田の匂いを消した。この3月末に、島田氏自ら来町して事業撤退を申し出、町長は受諾したが、裏で仲間内が取引を続行していたのだ!

令和5年度仁木町エネルギー転換実証事業委託業務委託業者の決定について

令和5年度仁木町エネルギー転換実証事業委託業務公募型プロポーザルを実施した結果、委託業者は次の通り決定しました。

委託先会社名等

株式会社ライフプランニング

代表取締役社長 森谷 祥

業務内容

仁木町再生可能エネルギービジョンに基づき、設備庁等複合施設においての太陽光発電設備取り付け可否調査及び災害時における使用電力量等に係る調査。

農産物残渣(ごんさ)を使用したバイオ炭によるバイオマス発電の実証実験に向けた調査及び事業計画の策定。 ※仁木町HPより

← 仁木の事業受託者、株式会社ライフプランニング (宮城県名取市)

← 名取市の同じ住所地番に、株式会社ワンテール・ライフプランニングが!

ワンテール 100% 子会社

ONETABLE LIFE PLANNING Inc.

株式会社ワンテール・ライフプランニング

事業概要: 建築・ホテル運営・飲食店運営・

食品加工施設運営受託事業

特定建設業許可証: (特-30 第 20984)

一級建築士事務所登録: (第 17610078)

宅地建物取引業: 宮城県知事 (1) 第 6397 号

ATALATA

ロクファームアタラタ

ゼネラルマネージャー

伊藤秀有

プロデューサー

島田昌幸

第6期決算公告
令和3年3月19日
宮城県名取市社まほろばのした五丁目31番5号
株式会社
ワンテール・ライフプランニング
代表取締役 伊藤 秀有
貸借対照表の要旨
(令和2年7月31日現在) (単位:千円)

科	目	金額
資産	流動	550,463
	固定	134,965
	合計	685,428
負債	流動	509,565
	固定	204,865
	合計	714,430
純資産	流動	30,000
	固定	49,000
	合計	79,000
負債及び純資産	流動	509,565
	固定	204,865
	合計	714,430
合計	合計	685,428

仁木町の風力発電を考える会

仁木町大江 1-341-44 代表 穂積豊仁

TEL: 080-1863-1306

【仁木風 HP】 <https://niki-wind.main.jp/>

風の祈り—第15章 (改訂最終版)

2023年10月6日発行 (11月11日改定)

発行所: 株式会社まほろば

NATURAL & ORGANIC

自然食の店 まほろば

札幌市西区西野5条3丁目1-1

TEL: 011-665-6624 FAX: 011-665-6689

www.mahoroba-jp.net